

# NiiGATA

生涯学習にいがた

No. 35  
2003.11



各種研修会への参加  
ありがとうございます

生涯学習を推進されている皆さんのお役に立てるよう、今年度も各種研修会を実施しています。

ニーズに合った研修内容になるように講師を広い視野から選んだり、グループ活動を見直したりしました。

これから実施する「奉仕活動・体験活動推進研修会」にもぜひご参加ください。

## コラム

### 生涯学習事業の評価(自標に向かって)

県立生涯学習推進センター次長

吉田 由照

県では、平成十三年度から行政活動の目標を数値化し、その達成度で成果を評価する「事務事業マネージメントシステム」(県のホームページで公開)を導入しました。生涯学習の分野も例外ではなく、当センターでは「生涯学習情報提供システム(ラ・ラ・ネット)」、「生涯学習相談」、「いきいき県民カレッジ」が対象です。

この評価制度の受け入れに際して、生涯学習事業を数値で評価し、数字に一喜一憂することを疑問視する意見もありましたが、生涯学習の事業は、より多くの県民の皆様、市町村、学校などが参加し利用することこそ、即ち成果を計る尺度となり、当センターが希求する「生涯学習社会」進展の指標にもなり得るとの所内合意のうえで、積極的に取り組むこととしました。

ちなみに、平成十三年度の実績と平成十七年度の目標値は、それぞれ左記のとおりです。

・ラ・ラ・ネット利用数

七五、六四二件 一四五、〇〇〇件

・生涯学習相談件数

八二五件 八九一件

・カレッジ受講数 五二、二四二人 六六、二七二人  
目標達成のため、まず、より多くの皆様にセンターの事業を知ってもらう努力から始めることとしました。小中学校にお願いして保護者の皆様に職員手作りのパンフレットを配布するなど広報活動に力を入れています。

また、ラ・ラ・ネットは、緊急雇用特別基金事業を活用し、指導者情報等既存登録データの充実を図るほか、文化財情報等新規分野の情報提供を進めています。

幸い、近年の生涯学習への関心の高まりと相まって、利用件数、参加者数ともに増加の傾向にあります。これに気を緩めることなく、県民の学習ニーズを敏感にとらえ、各事業とも常に見直し、充実に努める地道な努力の積み重ねが、目標達成の最良の方策であると考えます。当センターでは、ほかにも指導者の養成研修や「にいがた連携公開講座」など多様な事業を実施しています。当センターが提供する良質な講座や相談事業、情報提供事業などを利用して生涯学習活動を進めてください。

# 「にいがた連携公開講座2003」 今後のご案内



第9回講座 「古文書で読む江戸時代」の様子

## ～ にいがた連携公開講座2003の特徴 ～

- 1) 講師が講義を行う主会場と講義を視聴する受信会場をテレビ会議システムで結ぶことにより、同時に複数の会場で講座を開催できます。
- 2) テレビ会議システムの双方向性を利用して、受信会場から講師に直接質問ができます。
- 3) 各講座のテーマや内容は、参加市町村等のニーズを反映したものになっています。(市町村の希望テーマに大学が合わせる形でのテーマ設定を行っています。)

## 11月以降のにいがた連携公開講座の予定

	日 時	テーマ 講師	概 要
15	11/9(日) 13:30～ 15:00	子どもに対する食教育 新潟医療福祉大学 教授 齋藤トシ子	近年、子どもの体力の低下、感情のコントロールが出来ない子どもの増加、生活習慣病の低年齢化などが問題となっている。本講座では人格や生活習慣形成上重要な時期にあたる子どもに対する食教育の必要性、食教育のあり方について考えたい。
	主会場	小国町就業改善センター	受信会場 紫雲寺町中央公民館 六日町公民館 十日町情報館 岩船広域教育情報センター 県立生涯学習推進センター
16	11/15(土) 13:30～ 15:00	民俗調査って？ 県立歴史博物館 研究員 石垣 悟	民俗学における調査とは、具体的にはどのようなことをするのか？民俗学で行われてきた様々な調査について、紹介することで、その視点や方法を学びます。
	主会場	県立歴史博物館	受信会場 加治川村中央公民館 県立生涯学習推進センター
17	11/30(日) 13:30～ 15:00	自分たちの住む環境を 考える 長岡技術科学大学 教授藤田 昌一	今の地球環境や身近な環境はどうなっているのか、このままだとどうなると予想されるのか、その原因と私たちのくらしとの関係はどうなっているのかなど、身近なゴミ問題から考えてみましょう。環境の問題は大きすぎてとらえにくいのですが、皆で考えてみましょう。
	主会場	刈羽村生涯学習センター「ラピカ」	受信会場 県立生涯学習推進センター
18	12/6(土) 13:30～ 15:00	ここまで分かった新潟県の古墳文化 県立歴史博物館 主任研究員 伊與部倫夫	平成以降に急速に進んだ新潟県の古墳時代研究を振り返り、明らかになった古墳の概要と、それを基に進展した研究成果、特に古墳・高地性集落・土器といった資料が、畿内から北陸を経て越後に浸透した勢力の様子をどう再現しているかを解説する。
	主会場	新井市勤労者研修センター	受信会場 三条市中央公民館 紫雲寺町中央公民館 青海町総合文化会館「きらら青海」 岩船広域教育情報センター 県立生涯学習推進センター
19	12/13(土) 13:30～ 15:30	進む国際理解 新潟国際情報大学 教授 區 建英	多くの外国の方と接する機会が多くなっている私たちの生活において、国際理解への関心が高まっている。そこで、国際理解への取組みを中国との交流を中心に、その現状と今後について考える。また、国際交流に取り組む団体等より意見発表の予定。
	主会場	県立生涯学習推進センター	受信会場 三条市中央公民館 紫雲寺町中央公民館 十日町情報館



# 十

十日町青年学級は昭和23年に青年講座として開設（昭和28年に青年学級振興法の施行とともに十日町青年学級と改名）し、十日町市公民館では一番長く続いている講座です。以来55年間十日町市の青年教育の中心事業として、現在も十日町市公民館を会場に開設しています。

十日町市及び近隣町村の概ね20歳から30歳までの人が学んでおり、今年の学級生は44名（男：18・女：26）で、人数は減少傾向にあります。

事業内容は毎週木曜日の夜に6つのコース（料理・焼物・英会話・パソコン・シネマ&ビジュアル・手話）に分かれて学習するコース学習と、それぞれのコースが企画する全体学習のほか、学級生が自主運営する自治会活動の三本柱で活動しています。

自治会活動では、学級生の交流も一つの目的にしているため、活動をとおしての地域との関わりも大切な目的として取り組んでいます。主な活動内容は、夏の体験事業（今は群馬県の水上市でラフティングを体験）、小学生と楽しむ青級フェスティバル、公民まつりでの青級ひろば（屋台・ゲーム等）、十日町おまつりの民謡流しへの参加のほか今年で40回連続参加になる十日町雪まつりでの雪像作り等です。



ラフティン体験

現在は若者のニーズの多様化と集団活動を好まない体質が顕著に表れてきていますが、活動内容も少しずつ変え、参加しやすいように考えています。



また、十日町市公民館の隣接施設に勤労青少年ホームがあります。この青少年ホームでも同様の青年を対象とした講座があるため、双方の交流を深め、お互いの活動を理解することから、将来的には両講座を統一していくことも検討しています。

今後も青年の声を尊重しながら、共に青年教育について話し合っていきたいと考えています。

十日町市公民館 登坂弘喜

## 若者の力を生かそう

～ 県内市町村の取組み～

# 入

入広瀬村は、一小学校・一中学校区の村です。幼少時から活動の集団に大きな変化がなく、スポーツ少年団での活動も盛んなことなどから、小中学生の交流は日常の生活場面の中でたくさん見ることが出来ます。

高校生は進学とともに、村外へ通学するようになるという地理的な環境や小中学生との活動時間の違い等から、それまでのような交流がなかなか行われにくいという現実があります。村の礎となる高校生との関わりは地域を活性化していくうえで、大きなキーワードということができると考えます。

当村において、小中学生と高校生が関わる事業について紹介します。

### 【佐渡自然体験教室】

入広瀬村では、夏休みの期間を利用して2泊3日佐渡自然体験教室を開催しています。小中学生で10人程度のグループを4つ作り、その中に高校生が一人ずつボランティアスタッフとして入り、活動の助言をしたり支援をしたりしています。

小・中・高校生交流がもたらす利点として、次の3点を考えています。

小中学生が高校生から「生活の知恵」の情報提供を受けることができ、ものの見方や活動への取り組みの仕方の幅が広がる。村外に出た高校生に村内での居場所ができ、所属感を充足させることができるため前向きに活動しようとする気持ちが育つ。精神的な安定がはかれることもあり非行等にはしりにくくなる。村内学生に交流の輪が広がり人的ネットワークが確立し、様々な活動において有効に活用できる可能性が広がる。



海釣り体験教室準備の様子から

### まとめ

今後も、小中学生と高校生との関わり場面を増やし、お互いに有意義な活動になるように仕組んでいきたいと考えています。

また、高校生ボランティアについては本活動のみで終わるのではなく、この活動を一つのきっかけとして積極的に事業に取り組んでくれるような働きかけを考えていきたいと思ひます。

入広瀬村教育委員会 恩田知弥

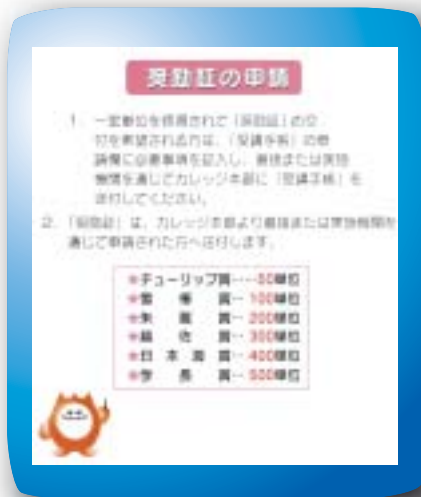
# 『いきいき県民カレッジ』愛講してみませんか

「いきいき県民カレッジ」では学んだことをいかせる講座がいくつかの実施機関の下、登録されています。子育てサポーター養成講座、読み聞かせボランティア養成講座などが登録されています。

この講座は、終了後その活躍の場を斡旋するものではありませんが、更なるレベルアップをめざし、学習成果やボランティア精神をいかしてみませんか。

152名の方が受賞されました (平成15年4月から8月末まで)

カレッジでは取得した単位数に応じて学長(県知事)発行の奨励証を授与いたします。



詳しくは、10月末発行予定の『いきいき県民カレッジ講座一覧秋号』をご覧ください(各地域の公民館等に置いてあります)。



## 『ラ・ラ・ネット情報メンテナンス研修会』を紹介します!

新潟県生涯学習情報提供システム『ラ・ラ・ネット』の特徴の一つに“発生源入力”があります。“発生源入力”とは、市町村の学習機会等の情報を市町村教育委員会や生涯学習関係団体が入力することによって、広く県民のみなさんにご覧いただき、活用していただくシステムです。

これらの理解と入力方法の研修会を「ラ・ラ・ネット情報メンテナンス研修会」として県内12ヶ所の視聴覚ライブラリーを会場として実施しています。

9月3日(水)には、上越市立視聴覚ライブラリーを会場に10名の参加者で行いました。

研修1では、『ラ・ラ・ネット』の活用方法についてデモンストレーションをします。

情報量として約5万件ある生涯学習に関する中から「指導者情報」や「新潟県の自然」等を紹介します。その後、自由に情報検索をしていただき、市町村での生涯学習推進の一助にしてもらいます。



研修1 「ラ・ラ・初興味は...」



研修2 町の情報を発信しよう!

研修2では、持参いただいた実際の「学習情報」を“メンテナンスマニュアル”に添いながら、直接入力していただきます。当センターのサーバ機にアップして、広く県内に発信します。入力手順をマスターすれば、より効率的に入力できるようになります。

このように、『ラ・ラ・ネット』は市町村教育委員会等の生涯学習関係団体の情報発信が大きな柱となっています。このシステムを一層御理解いただき、多くの学習機会等の情報を入力いただきたいと思います。それらの情報が県民のみなさんの活発な生涯学習活動につながることを願っています。

<http://www.lalanet.gr.jp>

是非、アクセスしてみてください!